

# 1. 調査研究科

## I 漁況海況予報海洋調査

(昭和36年度都道府県水産試験場特別調査)

この事業は国の補助を得て、実施するもので、調査の結果は国に報告され総括的に取纏められる。

事業の内容としては、(1)沖合ならびに沿岸、内湾の海洋調査。(2)県下全般にわたる沿岸および、沖合の漁況ならびに漁獲量の調査。があり、海洋観測は昭和36年1月から昭和36年12月までの2.4.7.11月の4回行ない、いわし資源委託調査の海上調査の主体となる産卵および稚仔調査は2.3.4.6.7.9.11月の7回行ない、又漁獲量調査は内湾観測と共に毎月行なつた。

## II 沿岸重要資源(いわし)委託調査

### (1) 海上調査

いわし資源委託調査中、海上調査は、漁況海況予報海洋調査と事業内容は同じであり、結果のとりまとめにあつては両者を併せて報告する。

#### 1. 調査方法

当試験場所属の多幸丸(19.98 $\text{t}$ 、ディーゼル90HP)あゆち丸(49.24 $\text{t}$ 、ディーゼル400HP)、はくおう丸(6.50 $\text{t}$ 、ディーゼルHP)、和風丸(4.23 $\text{t}$ 、ディーゼル25HP)、およびさざなみ(2.70 $\text{t}$ 、ディーゼル17HP)の各船を使用し、委託調査要項に従い調査を実施した。

#### 2. 調査経過概要

観測年月日	使用船名	観測点	備考
36.2.20~28	あゆち丸	B <sub>1</sub> ~B <sub>3</sub>	沖合観測
36.2.20~28	和風丸	1~8.16~24	沿岸観測
36.3.22~25	はくおう丸	1~10.18.23~28	沿岸観測
36.4.20~28	あゆち丸	B <sub>1</sub> ~B <sub>1</sub>	沖合観測
36.4.20~28	和風丸	1~8.18~24	沿岸観測
36.6.15.20~23	さざなみ 多幸丸、和風丸	1~24.27.28	沿岸観測
(8月8.9日) 36.7.20.24.25	多幸丸	B <sub>1</sub> ~B <sub>9</sub>	沖合観測
(8月8.9日) 36.7.20.24.25	さざなみ 多幸丸、和風丸	1~24.27.28	沿岸観測
36.9.21~28	多幸丸、さざなみ	1~24.27.28	沿岸観測
36.11.7.8.14.15	多幸丸	B <sub>1</sub> ~B <sub>9</sub>	沖合観測
36.11.7.8.14.15	多幸丸、さざなみ	1~24.27.28	沿岸観測

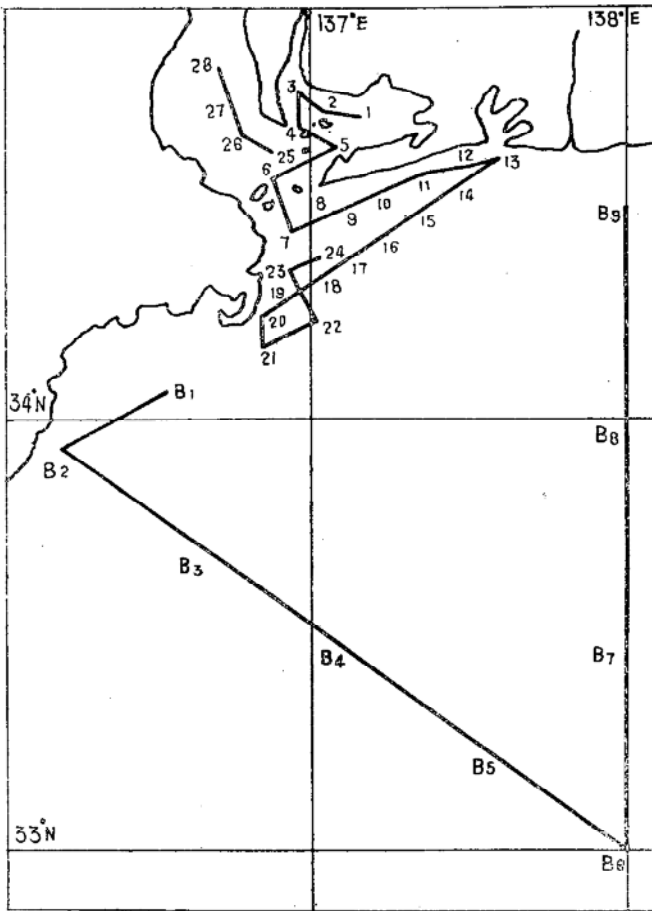
(観測点は別図参照)

#### 3. 調査内容

##### (1) 海洋調査

ア、昭和36年度沖合の概況は、熊野灘から遠州灘沖の冷水塊は依然としておとろえずN31度~33度、E137度~138度附近に位置していると思われ、2月の沖合観測における水温分布

海洋観測定線図



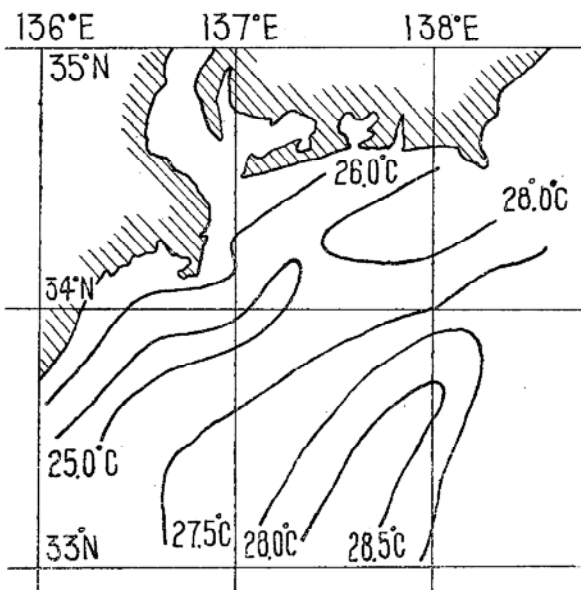
をみれば表面から100m層位までは15°C~16°Cを示し冷水塊の発達うかがえる。一方冷水塊をう回した黒潮本流は E138度30分あたりで北上し、伊豆諸島近海を通り抜け房総方面に向っている模様である。その後の4月・7月・11月の沖合観測からも、これらのことがうかがえた。また大王崎より潮岬にかけて1ノット内外の西向反流がいつも見られた。

イ、沿岸観測の概要は熊野灘沖の冷水塊と沿岸水の影響等で複雑な様相を呈している。内湾についてみれば知多湾と伊勢湾はほぼ同様の傾向であるが、渥美湾は前者に比較すれば常に1°C前後の水温差がみられる。渥美外海沿岸、大王崎周辺観測では各層にはあまり水温変化が見られなかつたが、局部的な地点で、低温を示す傾向があつた。そして昭和36年度は、黒潮勢力が強く、沿岸におよぼす影響が大きかつたようである。

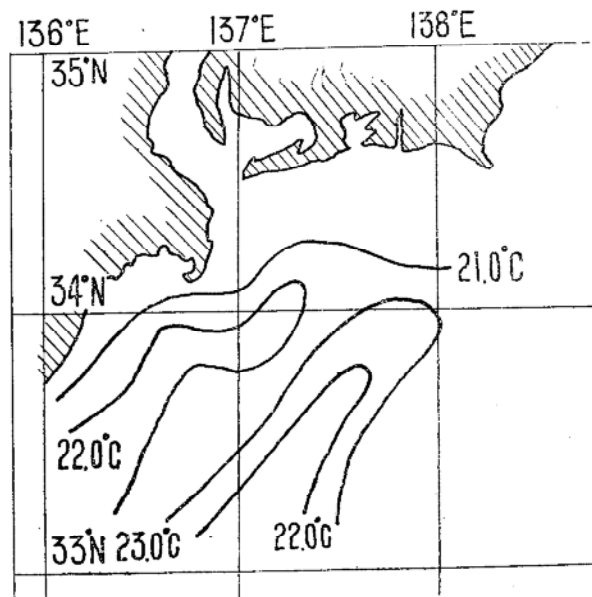
ウ、ここで7月沖合観測の水温について、検討してみると、表面水温は26°C~28°C、10m層から25m層位までは23°C~25°C、

50m層では22°C~24°C、100m層では18°C~20°C、150m層では17°C~18°C、冷水塊内では14°C、400m層で7°C~8°Cと各層によつて水温の開きが相当にある。

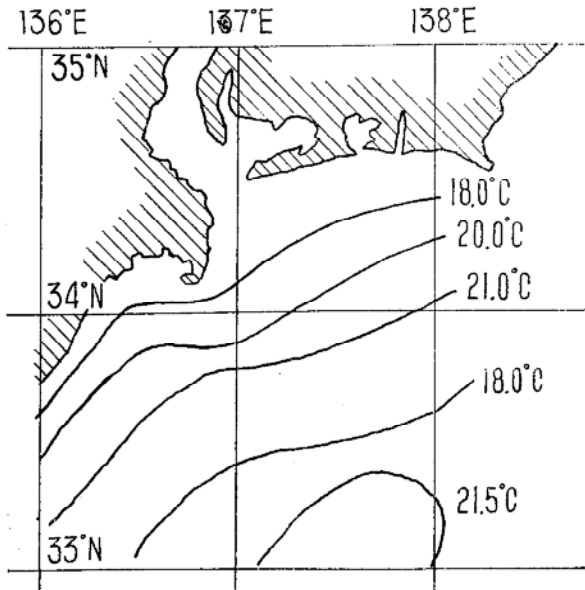
表層水温水平分布図



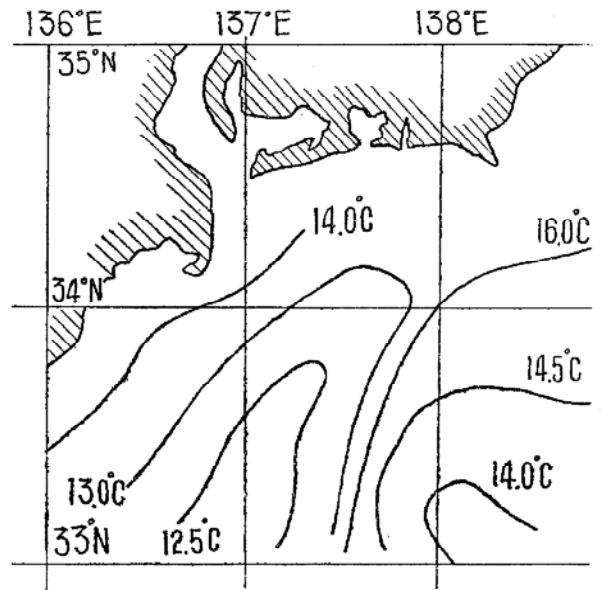
50m層水温水平分布図



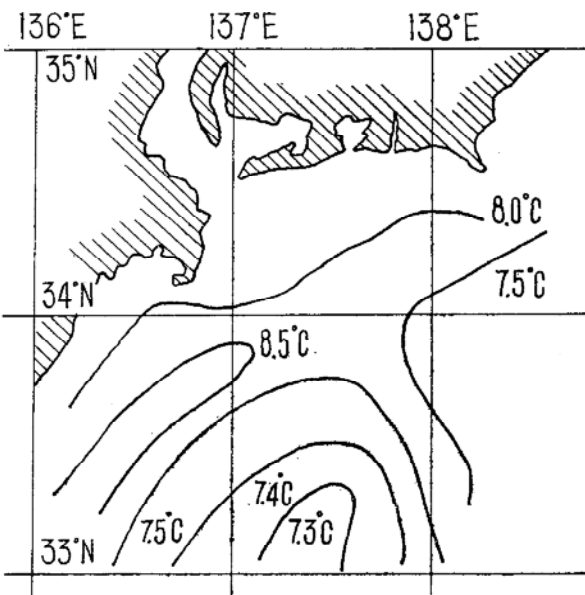
100m層水温水平分布図



200m層水温水平分布図

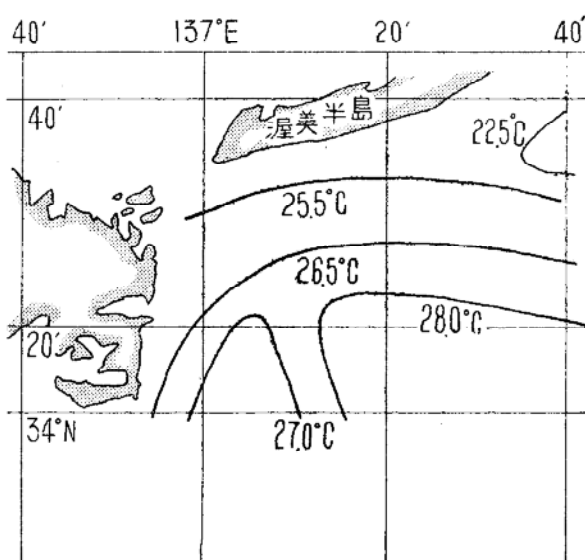


400m層水温水平分布図

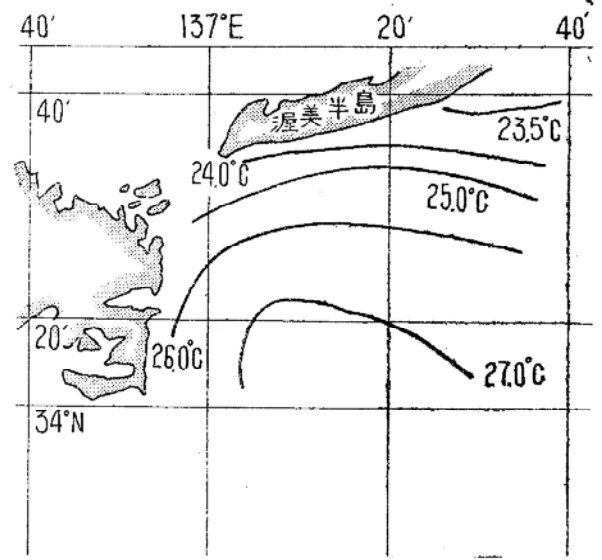


エ、7月の沿岸観測についても検討を加えてみると、渥美外海への黒潮の影響は強く、沿岸から(5~10マイル)には、西に流れるかなり顕著な黒潮反転流が認められた。また一方この月は内湾への影響も強く、伊勢、三河両湾は水色透明度共に外洋性を帯び、水温は例年より1°C前後、塩素量も0.5%前後高くなっている。

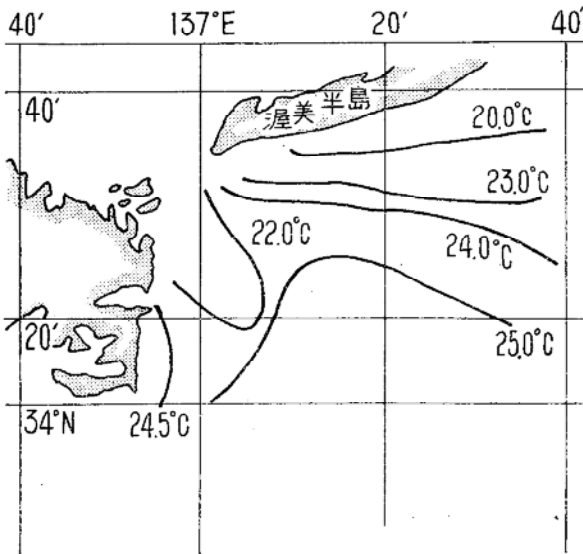
0m水温水平分布図



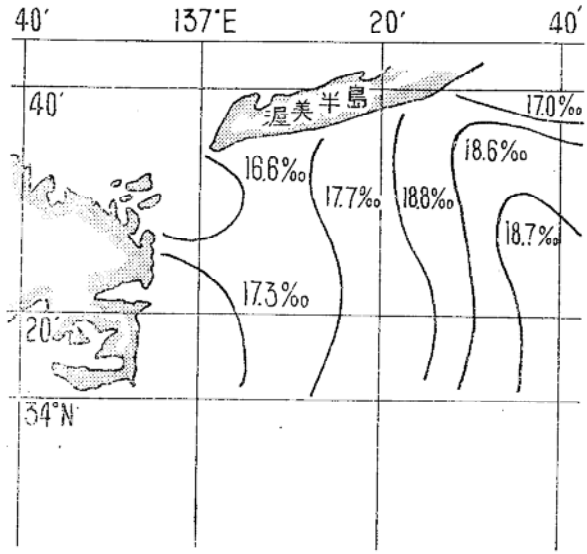
10m層水温水平分布図



25m層水温水平分布図



塩素量水平分布図 (表層)



(2) 漁況調査

昭和36年1月から12月までの漁況は概略次のとおりである。

〔1月〕

北西の季節風が強く近年にまれな悪海況の月であり、このため漁業は全般にわたって、極めて低調であつた。帆打瀬網漁業はノリ養殖への時期的転向で出漁が減少した。その他ほとんどの漁業は平年を下廻つた。貝類についてみれば、前年異常繁殖したバカ貝が平年並となり、代つてサルボウ(方言、チンミ貝)は2倍近い漁を示した。

〔2月〕

この月は例年の如く、各漁業全般にわたり低調であつた。これを漁業種類別にみれば、底びき網漁業はほぼ平年並であるが、その他の船びき網、地びき網、きんちやく網、改良三枚網等は、季節風の影響もあつたが、ほとんど不漁のため、出漁皆無の状態であつた。主要魚種であるシラスや、タコ、フグも不漁状態であつた。

〔3月〕

3月18日に解禁となつたコウナゴ漁は昨年をやや上廻る好漁であつた。また外海の吾智網によるタイ漁も良好であつた。

本年は数年来の低水温を示し、この影響によるためか一本釣によるイカ漁は半月程遅れ、3月下旬から操業されている。また引続きタコつぼ、一本づりによるタコ漁も少なく、刺網によるキス漁も不漁であつた。

ワカメは内湾の一部を除き、内湾、外海とも質、量共に良かった。

コウナゴ漁獲高

3月	4月	計
989.0 トン	575.0 トン	1564 トン

〔4月〕

シラス船びき網によるシラス漁は漁期が例年よりやや遅れたが4月の漁況はかなりの漁を示した。漁場は例年よりやや岸寄りで、前年の夏以来非常な不振にあえいでいたが、久し振りの好漁であつた。また底びき網によるエビ類(クルマエビ、アカエビ等)の水揚げがかなり上昇した。

漁獲減少を示したものに、タコつぼ、一本釣によるタコ、刺網によるキスがあり、一本釣による

イカ漁は盛漁期に入ったが、例年に比較して水揚量はやや減少していた。

(単位トン)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
430	370	320	340	440	420	440	320	610	570	580	510	5,350

〔5月〕

前月から活況を呈してきた、シラス船びき網漁業は不漁年ながら盛漁期に入つて、漁期の遅れを取戻して例年5月の2倍近い大漁。また3月末より好漁を続けてきた吾智網漁業もなお好漁を継続していた。しかし源式網、キス刺網漁業によるキス漁とつり、タコつぼ漁業によるタコ漁は依然不漁を続けた。その他改良罟目網、磯建網漁業等はやや不漁を示した。

単位トン

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
23	22	35	32	17	26	27	18	10	27	44	19	300

〔6月〕

6月21日に解禁となつたパツチ網漁業は昨年同様好調なすべりだして、例年比20~30%増の豊漁となつた。しかしこの月は漁業全般でわたつては低調で、好漁に転ずるかと思われたシラス船びき網漁業、吾智網漁業は減退し、平年並かややそれを下廻つた。

魚種別ではカタクチイワシの豊漁を除けば、全般的に悪く不漁を続けてきたタコ漁は近年まれな凶漁となつた。キス漁はこの月でもちなおしてきたが、魚体は小型が主体となつた。

〔7月〕

カタクチイワシは昨年同期と同様大漁であつた。すなわち、パツチ網、きんちやく網、船びき網、地びき網等による大量漁獲は保存、加工、流通の限界を越え、一部は肥、飼料にまわる程であつた。これに反し、シラス漁は前年同期と同様、極度の不振におちいつた。前年末、好調を継続してきたエビで漁獲もようやく減少の傾向を示し始めた。しかし不調を続けてきたキス漁は三河湾東部漁場で好転のきざしを見せはじめた。刺網によるカレイ漁、および延なわによるイシモチ漁は好漁であつたが、まき網、刺網によるボラ漁はやや不漁であつた。前年末から不漁を続けてきたタコ漁は依然悪く、水揚高は例年の半分位に停滞していた。

キス漁獲高

単位トン

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
15	25	27	28	40	42	63	58	28	39	22	15	387

〔8月〕

カタクチイワシの大漁、シラスの不漁は前年同期と同様の傾向を示した。

底びき網、刺網によるエビ漁は前月に引続き漸減の傾向で、特に刺網漁は不漁におちいつた。しかし特異現象として、三河湾中部沿岸一帯で近年まれなクルマエビの稚子が多獲されている。

刺網によるキス漁は三河湾東部漁場では豊漁を示したが、主体漁場である外漁場はやや不漁であつた。その他の漁獲では延縄によるイシモチが豊漁であつたが、外海の吾智網によるマダイ漁は不漁で、タコつぼ、つりによるタコ漁は極度の不振にあえいだ。総合的にみて、カタクチイワシ漁を除けば、やや不漁の月であつた。

〔9月〕

カタクチイワシは依然豊漁で、型も小さかつた。底びき網は平年並で、板びき網に例年になくコウイカの小型が渥美外海で漁獲された。またアナゴ、タコは不漁、サワラ流網は漁場の変動が激し

く、魚群が薄かったようである。つり漁業でイナダがここ4、5年になくよくつれている。〔大型魚礁〕

サワラ漁獲量 単位トン

8月	9月	10月	11月	12月	計
14	21	37	10	10	92

〔10月〕

カタクチイワシ漁は依然よく、例年の10~20%増であつた。シラス船びき網もややもち直した感があつたが、これは価格が良かったことがあげられる。板びき網は渥美外海でアマダイが平年を上廻つた。中型機船底びき網は、御前崎沖漁場でニギスが少し良くなつたほかは、大王崎沖漁場にはあまり出漁しなかつた。

前月に引続き一本つりのイナダ漁が良かったが、その他の漁業は平年並か、それより下廻つたようで、同一漁場での漁獲の変動が目立つた。

〔11月〕

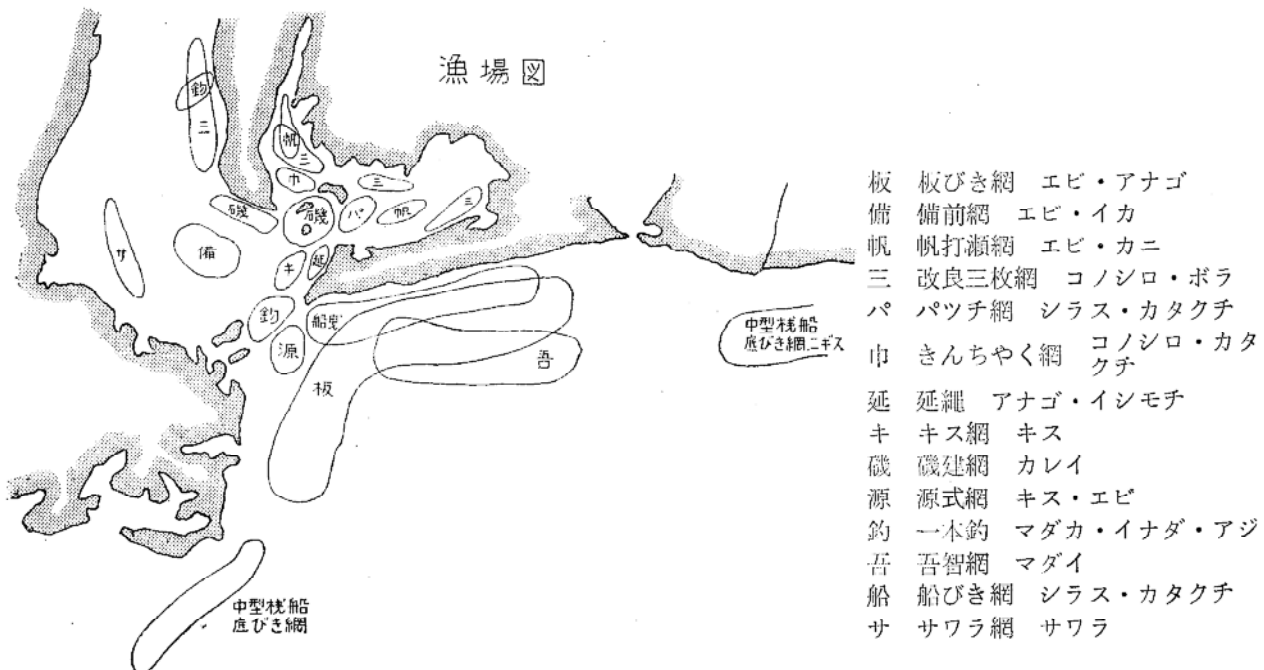
この月もカタクチイワシ漁は平年を上廻り、シラス船びき網も前年に比べれば価格もよく、やや持ち直した。しかしタコ漁業、サワラ流網漁業は依然不漁で例年の50%位の水揚げであつた。

底びき漁業関係は、この月は暖気のためノリ養殖が一潮位遅れたこともあつて、帆打瀬網等は出漁口数、漁獲高共に前月並であつた。また吾智網のタイ、ナマコびきでのナマコは例年より少なかつた。9月、10月によから一本釣りのイナダ漁も、この月は伸びず、タチ魚つりが代つて活発になつた。

〔12月〕

10月、11月と暖気のため懸念されたノリ養殖もこの月に入つて、持ち直し一応平年並となりノリ業者は多忙を極めたが、一般漁業はやや低調であつた。シラス漁は前月より減少し、その他の漁業もやや不漁を示した。しかしパッチ網、きんちやく網によるカタクチイワシ漁は依然として平年を上廻つた。

その結果昭和36年度は近年にないカタクチイワシの豊漁年となつた。シラス船びき漁は前年に引続き不漁となつた。またタコ、フグ、ナマコ等の水揚量の減少しているのが目立つ。全般的に平年並の漁況であつた。ノリ養殖は越年してから大豊作となつた。



## Ⅱ 沿岸重要資源(いわし)委託調査

### 1. 36年度いわし漁況

36年度いわし漁況は、年間漁獲高からみれば前年度とほとんど同じで、かたくちいわしについては豊漁、しらすについては不漁ということがいえる。

しらすについては、前年とほとんど同じような傾向であつたが、かたくちいわしについては、その内容において、かなり異つた状況を示した。すなわち前年度は総漁獲高の大半が6、7月の2箇月に漁獲されて、魚体も大小の差が大きく、しかも肥満度高く煮乾品として非常に不向きであつたのに反し、36年度は年間大体平均して漁獲され、魚体も6~10cmのものがよくそろい、近年にない良い年であつた。

表I いわし類漁獲類の年変化

品類 年度	品類				品類 年度	品類			
	まいわし Kg	かたくち いわし Kg	うるめ いわし Kg	しらす Kg		まいわし Kg	かたくち いわし Kg	うるめ いわし Kg	しらす Kg
24		5,852,584		591,799	31	23,513	5,054,591		4,048,189
25	78,900	14,191,774		2,359,154	32	3,825	5,646,139		3,266,558
26	3,750	16,713,563		3,617,336	33		6,539,108		4,845,105
27	416,685	14,472,866		2,302,564	34	152,185	4,476,323		3,534,015
28	10,808	9,422,636	11,816	1,701,165	35	868,890	10,501,002		1,982,629
29	200,996	5,661,161		1,288,568	36		10,442,996		1,913,318
30		5,093,411		2,893,676					

図1. かたくちいわし、しらすの漁獲高年変化

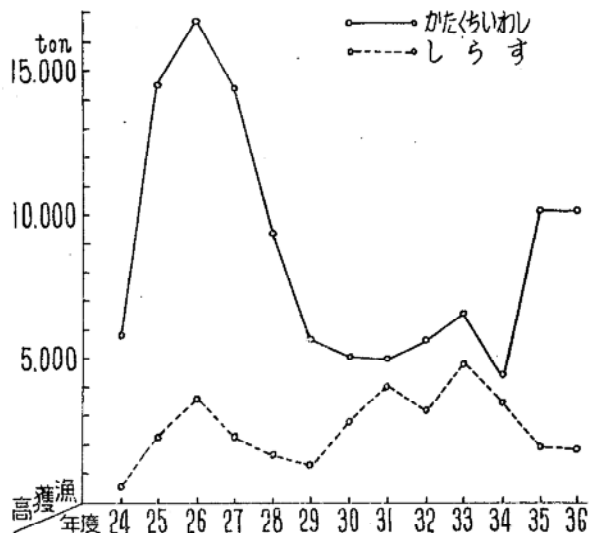


図2. かたくちいわし、しらすの月別漁獲高変化

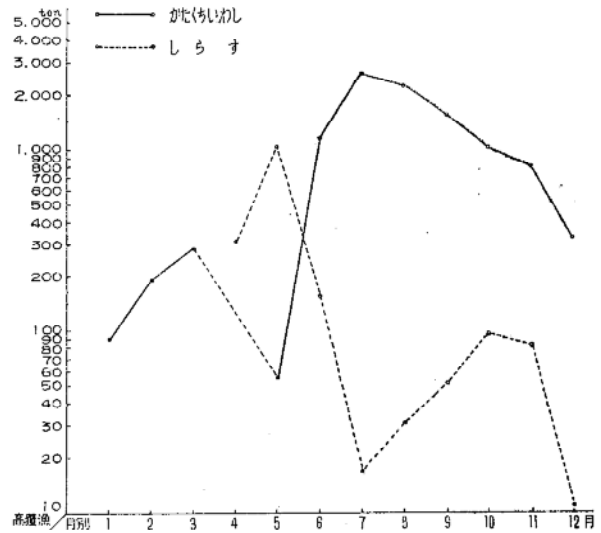


表2 昭和36年度かたくちいわし、しらす月別漁獲高

類	月別							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
かたくちいわし	90,950	192,100	288,210	—	55,190	1,170,494	2,639,624	
しらす	—	—	—	315,646	1,149,291	155,074	17,162	

8月	9月	10月	11月	12月	合計
2,280,936	1,537,733	1,050,626	808,303	328,800	10,422,966
31,301	52,201	97,994	83,358	11,291	1,913,318

### (1) しらす船びき網漁獲高

昭和36年度しらす漁況を検討するにあたって、県内しらす船びき網の代表地である篠島漁協所属のものを利用した。

36年度は前年度に引続き非常に不漁であつたが、これは例年漁獲される1~3月に全然漁獲されなかつたことと、春秋の盛漁期をはじめ年間を通じて全般的に漁獲が少なく、特に例年年間漁獲高の過半を占める春季の不漁が大きく、近年にない不漁年となつている。したがって価格も非常に高値を呼んで、春季1桶(15Kg入)1,500~2,000円であつたものが、秋季には、3,000~4,000円となつた。このため業者自体にとっては漁獲が少なかつた割に水揚金額が多かつたため、あまり深刻な影響は受けなかつたようである。

表3 篠島しらす船びき網漁獲高変化

年 度	30 年	31 年	32 年	33 年	34 年	35 年	36 年
漁 獲 高	1,203,623 Kg	1,169,001 Kg	2,029,831 Kg	1,938,647 Kg	1,792,729 Kg	1,227,914 Kg	877,851 Kg

表4 昭和36年度篠島しらす船びき網漁獲高

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
漁獲高	181,859 Kg	367,578 Kg	100,137 Kg	2,162 Kg	31,301 Kg	48,911 Kg	54,994 Kg	79,678 Kg	11,291 Kg

図3. 篠島しらす船びき網漁獲高年変化

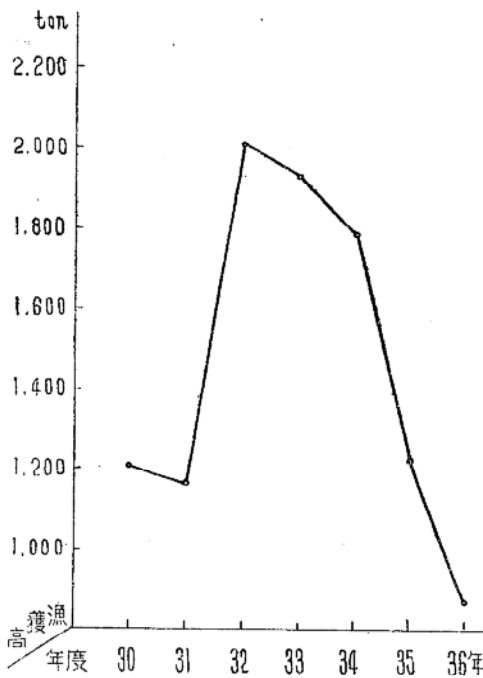
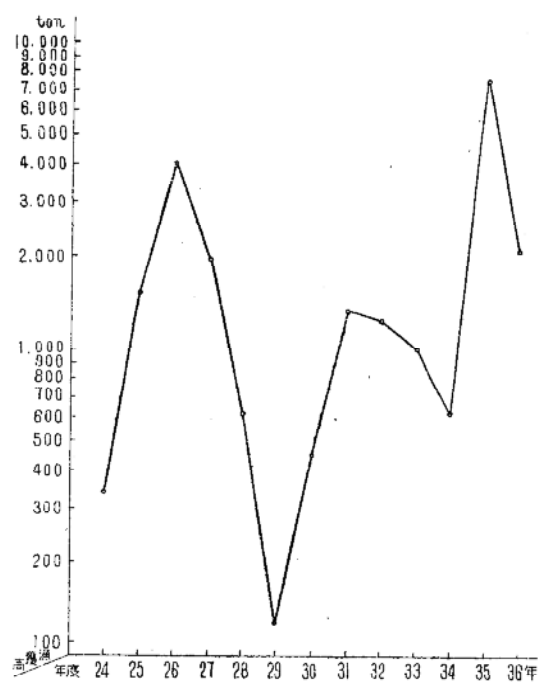


図4. 昭和36年篠島しらす船びき網月別漁獲高変化図



### (2) パッチ網獲獲高

昭和36年度パッチ網のかたくちいわし漁獲量を検討するにあたって県内パッチ網の代表地である大浜漁協所属のものを引用した。

36年度の年間漁獲高は、この地においては前年に比して減少しているが、県下全般については、前述のごとく、前年とほぼ同じの漁獲をあげ非常に豊漁な年であつた。

前年度はその漁獲の大半が6~7月の2箇月間に漁獲され、しかもその品質もあまりよくなかつたので、年間漁獲高が多かつた割に、実質的にはあまり良い年とはいえなかつた。

しかし36年度は漁獲が一時期にかたよることなく年間平均して漁獲され、品質も6~10cmのもの



が年間を通じてよくそろっていたので、価格も非常に安定していたようである。したがって36年度のかたくちいわしは、漁獲高においても、またその内容においても近年にない豊漁な良い年であったと云える。

表5 大浜パッチ網漁獲高年変化

年 度	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	31 年
漁 獲 高	342,908 Kg	1,514,933 Kg	4,067,471 Kg	1,962,390 Kg	619,035 Kg	129,283 Kg	453,750 Kg	1,364,805 Kg

32 年	33 年	34 年	35 年	36 年
1,283,764 Kg	1,012,448 Kg	629,408 Kg	7,647,057 Kg	2,229,105 Kg

表6 大浜パッチ網月別漁獲高

月 別	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
漁 獲 高	283,800 Kg	528,044 Kg	488,546 Kg	382,590 Kg	283,500 Kg	197,825 Kg	64,800 Kg

図5. 大浜パッチ網漁獲高年変化

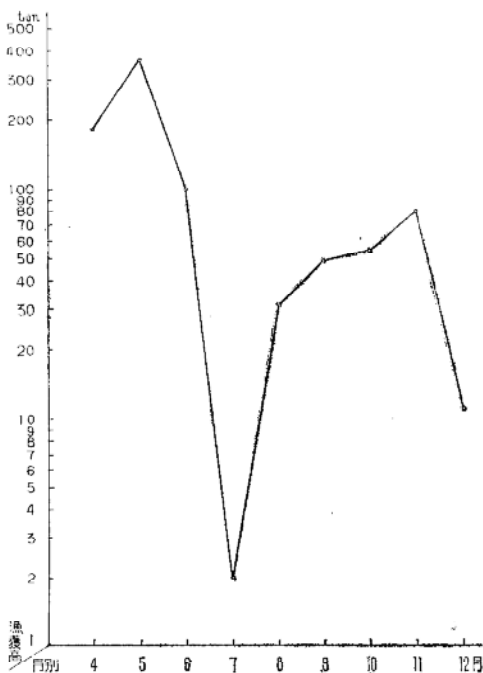
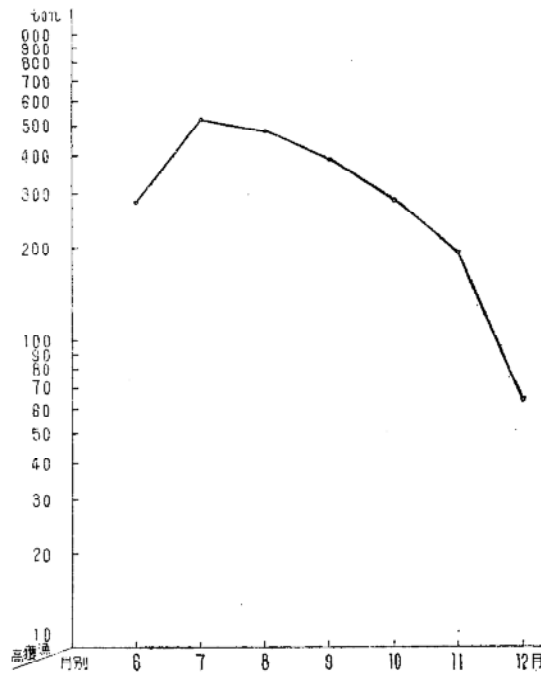


図6. 大浜パッチ網漁獲高変化



## 2. 魚 体 調 査

### (1) かたくちいわし

昭和36年度の魚体調査結果からみると、体長組成においては、例年に比して各月のモードが1.5~2.0cm小さく、しかも一般に組成範囲が例年より広いようである。これは36年度の漁況とも考えあわせると、調査尾数が少ないのではつきりとは云えないが、36年度のかたくちいわしとなる産卵は相当回数おこなわれたのではなからうか。

肥満度については、例年より若干低くなっている。脊椎骨数については、6月以前に漁獲されたものについては、45個以上のものが大体50%以上を占め、7月以後のものについては、44個のものが50%以上を占めているのが大きな特徴となっている。

そこで参考までに、前年度のしらす脊椎骨数をみてみると、6月以前は44個というものは5%以下

であつたものが、7月以後には10~20%に増加している。これは35年度後半のしらすが36年度の後半になつて、かたくちいわしとして漁獲されたとは考えられないであろうか。

(2) かたくちしらす

全長組成については、かたくちいわしと同様、組成範囲が例年に比して非常に広がつており、そのモードをみると、例年月が進むにつれてモードの位置が變つてゆき、しらすの成長の動きがある程度みられるが、36年度においては、年間を通じてあまり大きなモードの動きがみられないのが特徴となつている。

(3) 魚体調査結果

各魚種別魚体調査は既定の方針にしたがつて実施した。その結果は以下図表のとおりである。

表7 かたくちいわし

漁獲年月日	全 長		体 重		肥 満 度		背 椎 骨 数		漁 業 種 類	根 拠 地
	個体数	平均	個体数	平均	個体数	平均	個体数	平均		
36. 4.13	60	2.56	20	0.08			20	45.2	しらす舟びき網	篠 島
4.17	"	2. 0	"	0.06			"	44.9	"	赤 羽 根
4.28	"	2. 6	"	0.1			"	45.3	"	篠 島
5. 6	"	2. 7	"	0.14			"	45.7	"	赤 羽 根
5.11	"	3. 2	"	0.34			"	45.4	"	"
5.13	"	3. 0	"	0.22			"	45.3	"	篠 島
5.16	"	2. 4	"	0.065			"	45.6	"	赤 羽 根
6. 8	"	2. 4	"	0.085			"	45.2	"	篠 島
6.23	"	2. 5	"	0.13			"	45.0	"	"
7. 一	"	1.97	"	0.055			"	45.0	"	赤 羽 根
8. 1	"	1.57	"	0.025			"	45.6	"	篠 島
8. 1	"	3.75					"	45.2	"	"
8. 7	"	2.44	20	0.065			"	44.8	"	"
9. 5	"	2.27	"	0.07			"	44.3	"	"
9.18	"	2.48	"	0.075			"	45.5	"	"
10.11	"	2. 0	"	0.05			"	45.3	"	"
10.17	"	3. 0	"	0.23			"	44.8	"	"
11. 1	"	2.57	"	0.11			"	44.9	"	"
11.19	"	2.35	"	0.105			"	44.7	"	"
11.21	"	2.32	"	0.075			"	44.7	"	赤 羽 根
11. 2	"	2.53	"	0.105			"	45.4	"	篠 島

表8 う る め し ら す

漁獲月日	全 長		体 重		肥 満 度		背 椎 骨 数		漁 業 種 類	根 拠 地
	個体数	平均	個体数	平均	個体数	平均	個体数	平均		
36.12. 2	60	3.25	20	0.255			20	54.0	しらす船曳網	篠 島

表9 ま い わ し

漁獲月日	全 長		体 重		肥 満 度		背 椎 骨 数		漁 業 種 類	根 拠 地
	個体数	平均	個体数	平均	個体数	平均	個体数	平均		
36. 4. 6	1	16.7	1	66.5	1	14.278	1	51.0	角建網	三 谷
4.16	"	15.6	"	42.8	"	11.274	"	49.0	"	"
5. 一	"	11.8	"	17.9	"	10.894	"	50.0	"	"
7. 一	"	15.5	"	51.2	"	13.749	"	50.0	"	"

表 10 かたぐちいわし

漁獲月日	体 長		体 重		肥 満 度		背 椎 骨 数		漁業種類	根拠地
	個体数	平 均	個体数	平 均	個体数	平 均	個体数	平 均		
36. 1.13	60	4.28	20	0.77	20	9.528	20	44.4	地びき網	赤羽根
3. 2	"	4.13	"	0.73	"	9.419	"	45.0	しらす 船びき網	"
4.11	2	11.2	2	18.5	2	12.302	2	45.0	角建網	三 谷
4.13	1	12.7	1	17.1	1	8.384	1	45.0	"	"
4.22	"	10.5	"	13.2	"	11.403	"	44.0	"	"
4.28	"	10.0	"	9.8	"	9.800	"	45.0	"	"
6. —	60	4.1	20	0.64	20	9.286	20	45.5	しらす 船びき網	篠 島
6.12	2	11.0	2	14.4	2	10.292	2	44.0	角建網	三 谷
6.14	60	6.5	20	2.4	20	8.739	20	44.5	パツチ網	西 浦
7. —	1	10.7	1	10.5	1	8.010	1	45.0	角建網	三 谷
7.11	36	6.7	20	2.7	20	8.665	20	44.2	地びき網	伊良湖
7.12	45	6.5	"	2.6	"	8.871	"	44.2	"	"
8.21	60	5.73	"	1.79	"	8.757	"	44.7	パツチ網	西 浦
8.21	20	6.05	"	2.25	"	9.763	"	44.4	"	"
8.21	57	6.7	"	3.01	"	9.895	"	44.4	"	"
8.23	32	6.1	"	2.29	"	9.675	"	44.2	"	"
8. —	2	9.0	2	7.4	2	10.221	2	45.0	角建網	三 谷
8. —	3	9.9	3	10.3	3	10.311	3	45.0	"	"
8. —	5	9.2	5	7.9	5	10.110	5	44.2	"	"
8. —	"	9.2	"	7.9	"	10.150	"	44.2	"	"
8. —	"	9.3	"	8.1	"	10.358	"	44.0	"	"
8.26	"	6.7	"	3.3	"	10.505	"	44.6	パツチ網	大 浜
9.10	"	7.6	"	4.7	"	10.714	"	44.4	"	"
9.19	"	6.6	"	3.1	"	10.347	"	44.2	"	"
10. 6	27	7.0	20	4.1	20	11.606	20	44.4	"	西 浦
10. 7	5	8.9	5	7.5	5	10.730	5	44.0	角建網	三 谷
10. 8	6	7.4	6	4.9	6	11.433	6	44.5	パツチ網	大 浜
10. 9	7	8.7	7	7.0	7	10.456	7	44.3	角建網	三 谷
10.14	5	9.2	5	7.8	5	9.854	5	44.2	"	"
10.15	"	9.0	"	7.6	"	10.525	"	44.4	"	"
10.16	"	8.3	"	6.7	"	11.336	"	43.8	"	"
10.31	3	8.4	3	6.0	3	10.040	3	44.0	"	"
11. 5	5	9.22	5	8.03	5	10.211	5	44.2	"	"
11.15	15	5.72	15	1.93	15	9.724	15	44.0	パツチ網	大 浜
11.19	5	9.32	5	8.66	5	10.701	5	44.0	角建網	三 谷
11.21	"	8.9	"	7.08	"	10.075	"	44.2	"	"
12. 2	4	8.88	4	7.45	4	10.443	4	44.3	"	"
12. 5	5	9.44	5	8.82	5	10.483	5	44.2	"	"
12. 6	6	9.47	6	9.2	6	10.808	6	44.2	"	"
12. 8	4	9.78	4	9.6	4	10.269	4	44.5	"	"
12.12	10	8.47	10	6.17	10	9.940	10	43.9	パツチ網	大 浜
12.17	5	10.22	5	10.94	5	10.139	5	44.2	角建網	三 谷

表 11 う る め い わ し

漁獲月日	体 長		体 重		肥 満 度		背 椎 骨 数		漁業種類	根拠地
	個体数	平 均	個体数	平 均	個体数	平 均	個体数	平 均		
36. 4.26	1	8.8	1	8.5	1	12.473	1	54.0	角建網	三 谷
10.23	1	11.1	1	21.8	1	15.940	1	54.0	"	"
10.25	2	11.7	2	25.6	2	15.673	2	53.0	"	"
10.26	2	12.4	2	28.25	2	14.659	2	52.0	"	"
11. 2	1	13.1	1	36.0	1	16.014	1	53.0	"	"
11.26	1	12.7	1	30.6	1	14.939	1	52.0	"	"
12.11	1	14.6	1	51.2	1	16.452	1	54.0	"	"

表 12 三河湾かたくちいわし体長組成月別出現表

月別 階級	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	Σ
3.5未満 <i>cm</i>	1		10			4							15
3.5	4		1			10							15
4.0	21		32			31		2			1		87
4.5	28					15	5	22			1		71
5.0	3		17				8	28			4		60
5.5	3					3	12	33			5		56
6.0						22	19	46	2	6			95
6.5						32	15	47	2	14	3		113
7.0						3	9	28	3	8	1	1	53
7.5							2	5	1	2		3	13
8.0							8		2	9	1	1	21
8.5							3	7		15	5	5	35
8.0								7		6	4	11	28
8.5								7		1	4	7	19
10.0				1		1					1	4	7
10.5				2			1					2	5
11.0								1					1
11.5													
12.0				1		1							2
12.5				1									1
Σ	60		60	5		128	82	233	10	61	30	34	697

表 13 渥美外海かたくちしらす全長組成月別出現表

月別 階級	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	Σ
11					3					3
13	1		1	5	8					15
15	7	4	2	10	24	1	6	2	1	57
17	13	5	7	14	22	4	20	9	2	96
19	20	16	14	19	26	10	15	29	6	149
21	26	14	19	8	15	28	20	35	6	171
23	31	19	29	2	8	31	14	29	10	173
25	45	49	23		10	29	12	24	11	203
27	22	21	12	1	11	10	7	30	11	125
29	7	29	7	1	11	5	2	10	7	79
31	6	28	3		11		10	6	4	68
33	1	17	3		3	2	5	3	2	36
35 以上	1	38			34		9	3		85
Σ	180	240	120	60	180	120	120	180	60	1,260

表 14 三河湾かたくちいわし脊椎骨数月別出現表

脊椎骨数 月別	43		44		45		46	
	尾数	%	尾数	%	尾数	%	尾数	%
1	3	15.0	6	30.0	11	54.5		
2								
3	1	5.0	3	15.0	11	54.5	5	25.0
4			1	20.0	4	80.0		
5								
6			14	33.3	18	42.9	10	23.8
7	2	4.9	27	65.9	12	29.3		
8	2	1.9	53	50.5	50	47.6		
9			7	70.0	3	30.0		
10	3	5.5	35	63.6	17	30.9		
11	4	13.3	20	66.7	6	20.0		
12	1	2.9	27	79.4	6	17.4		
Mean		4.4		53.3		38.1		4.1

表 15 渥美外海かたくちしらす脊椎骨数月別出現表

脊椎骨数 月別	43		44		45		46		47	
	尾数	%	尾数	%	尾数	%	尾数	%	尾数	%
4	2	3.3	4	6.7	41	38.3	11	18.3	2	3.3
5			3	3.8	39	48.8	34	42.5	4	5.0
6			5	12.5	27	67.5	7	17.5	1	2.5
7	1	5.0	4	20.0	9	45.0	6	30.0		
8			13	21.7	26	44.3	17	28.3	4	6.7
9	2	5.0	13	32.5	14	35.0	10	25.0	1	2.5
10	2	5.0	12	30.0	13	32.5	10	25.0		
11	3	5.0	18	30.0	31	51.7	8	13.3		
12			4	20.0	5	25.0	10	50.0	1	5.0
Mean		2.4		18.1		48.8		26.9		3.8

図7. 三河湾かたくちいわし体長組成月別出現頻度 %

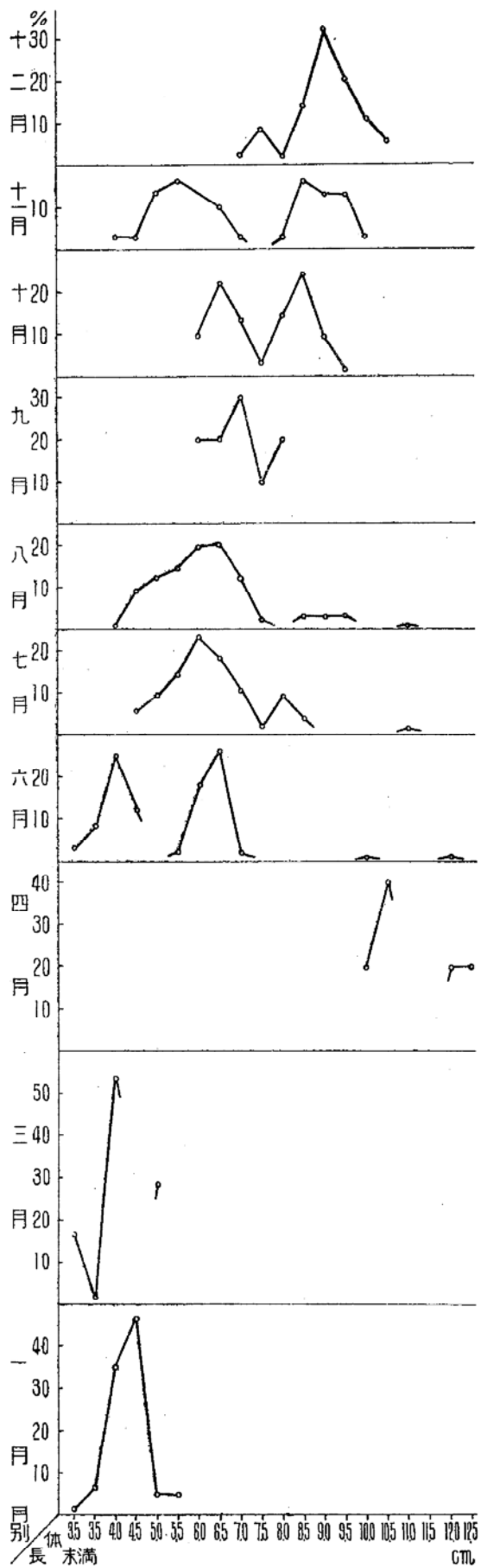
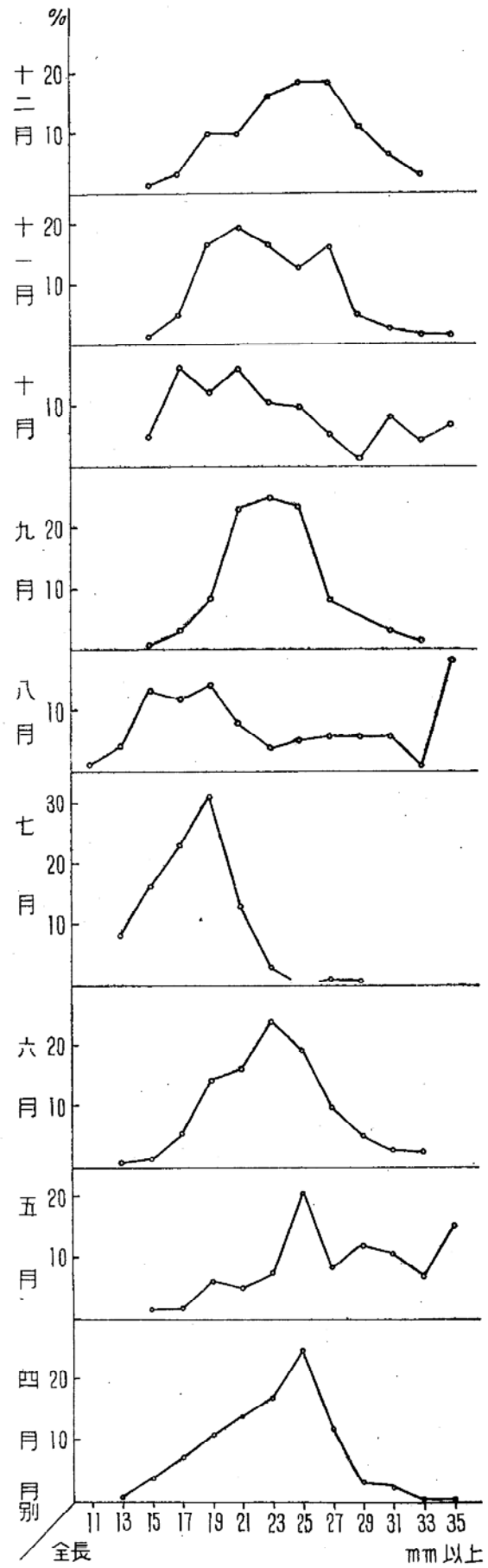


図8. 渥美外海かたくちしらす全長組成月別頻度 %



### Ⅲ 幼稚魚調査

#### 沿岸漁業経営改善のための幼稚魚調査（生態調査）

##### 1. 海況調査

調査海域三河湾の海況調査にわたつては、調査定点のほか、図1のような定点観測を同時に行ない、同調査の充実をはかった。これらの結果は、三河湾観測調査表および水温、塩素量分布図のとおりである。

##### (1) 概要

###### ア、表面

###### 4 月

湾奥部、中央部とも水温では、15.5~15.5°Cで、塩素量では、河口付近を除いては、16.00~17.00‰で、その間には大きな開きは見られず湾内のどの部分においても大体同じような海況となっている。

###### 5 月

水温では、湾奥部と湾口とは18.0°C前後で同温を示しているが、湾中央部では20°C前後で周囲に比して2°C前後高くなっている。塩素量では、湾奥で15.00‰、中央部で16.00‰、湾口では17.00~17.50‰と湾奥から湾口に行くにしたがつて少しずつ高くなっている。

###### 6 月

この月になると、降水量の増加にともなつて、河川水の影響が非常に強く、湾奥部では27.~28.0°Cまで上昇し、中央部では25.0°C、湾口では23.0°Cとなり、塩素量についても、湾奥部から中央部にかけては6.00~7.00‰と非常に低かんととなり、中央部から湾口にかけては17.00‰となつており、表面海況については一番大きな差異を生じる月となっている。

###### 7 月

湾奥部では、水温は28.0°C塩素量では、10.00‰であり、湾中央部では、水温20.0°C、塩素量14.00~15.50‰となつており、湾全体が二つの海域に分かれているような形となっている。

###### 8 月

水温は、湾全体にわたり大体29.0~30.0°Cで、年間を通じて最高の値を示しており、塩素量では16.50~17.00‰で湾全体が最も安定した海況となつている。

###### 9 月

水温は、湾全体にわたり大体25.0~26.0°Cで、塩素量は湾奥部の河口付近では16.00~16.50‰で湾中央部から湾口にかけては17.00~17.50‰であり、前月に引続き割合安定している。

###### 10 月

水温は、湾全体が大体19.0~20.0°Cで、例年に比し1~2°C高い。塩素量は河口付近を通じて、8.9.10月の3箇月が三河湾の最も安定している海況時期と思われる。

###### 11 月

水温は、湾奥部では18.0°C、中央部では19.0°C、湾口では20.0°Cであり、塩素量では、湾奥で16.50‰、中央部で17.00‰、湾口で17.50‰と湾奥から湾口に回つていずれも少しずつ高くなつている。

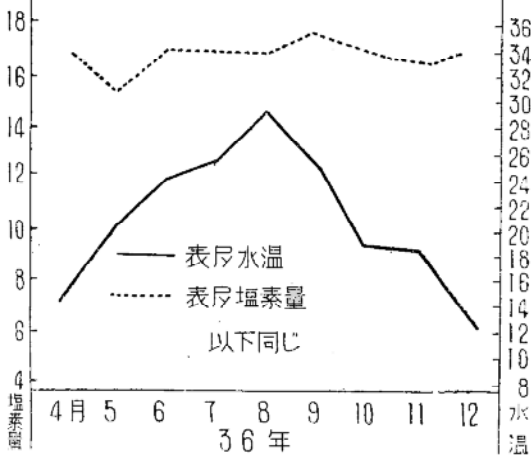
###### 12 月

水温は、湾奥部から中央部にかけて12.5~13.0°Cで、中央部から湾口にかけては14.0~15.0°Cとなつており、塩素量については、湾奥で16.00~16.50‰で、中央部から湾口にかけては17.00~17.50‰となつている。

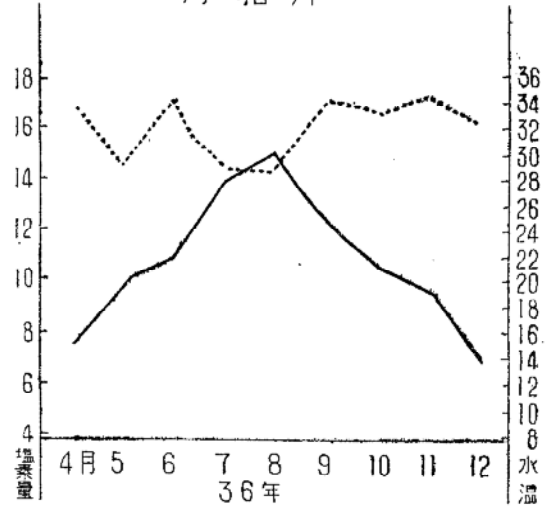




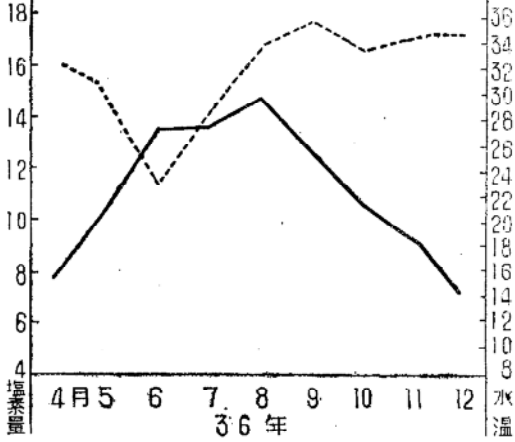
三河湾海区别 月别塩素量 水温変化図  
西浦沖 (湾中央部)



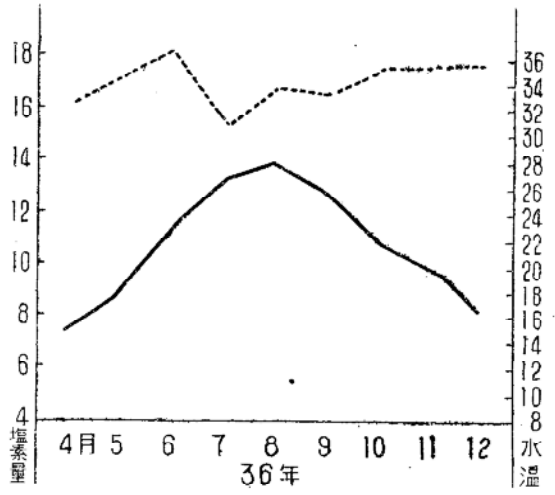
河和沖



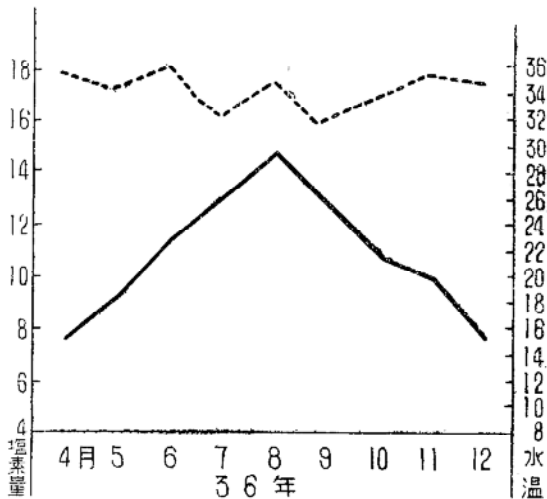
三河湾海区别 月别塩素量 水温変化図  
佐久島東



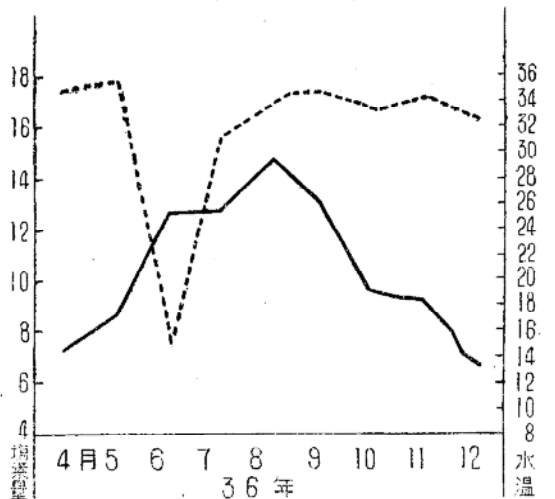
師崎水道



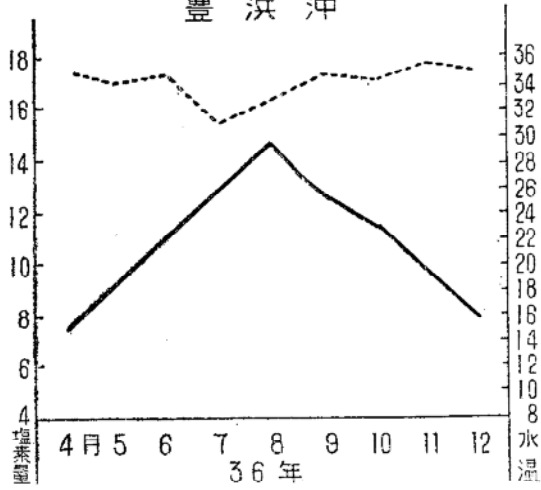
伊良湖水道



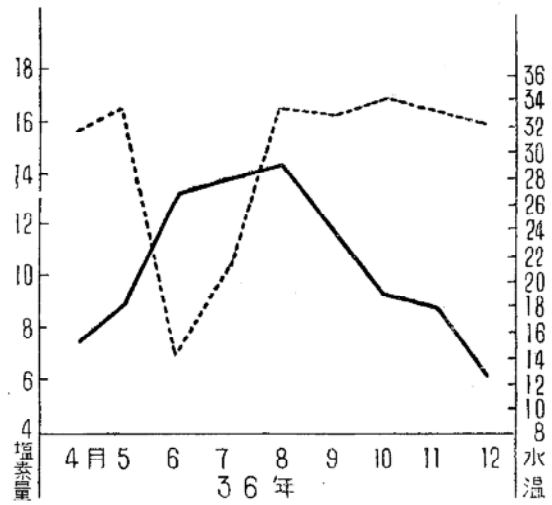
江比間沖



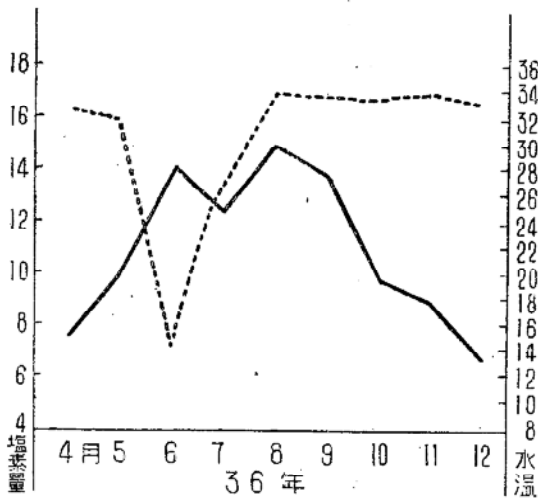
三河湾海区别 月别塩素量 水温変化図  
豊浜沖



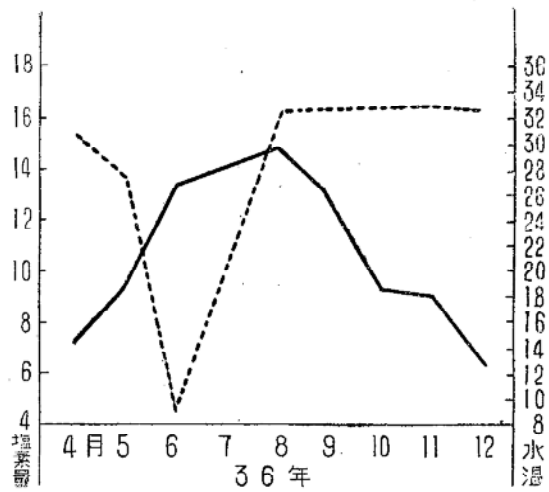
姫島沖



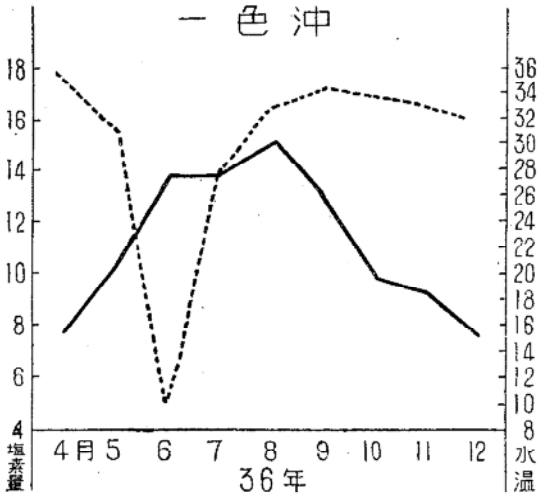
吉田沖



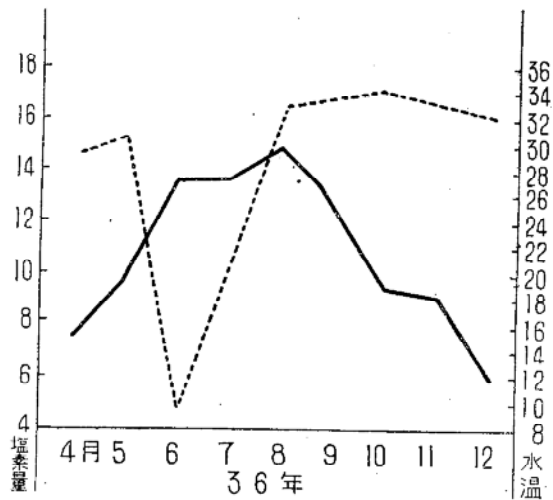
六條湯



三河湾海区别 月别塩素量 水温変化図  
一色沖



三谷沖



# 立馬沖

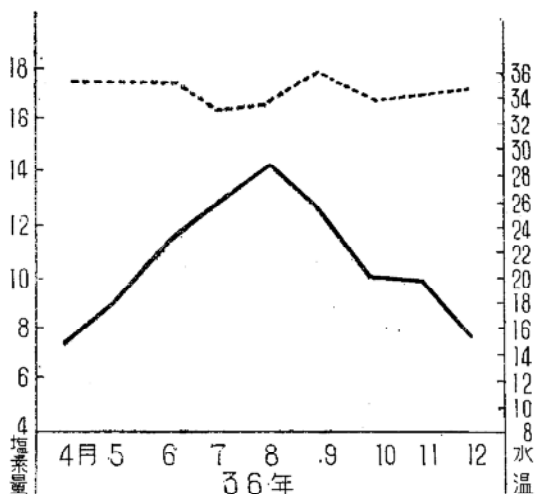


図3 高潮2時間前の外洋水の流入想定図

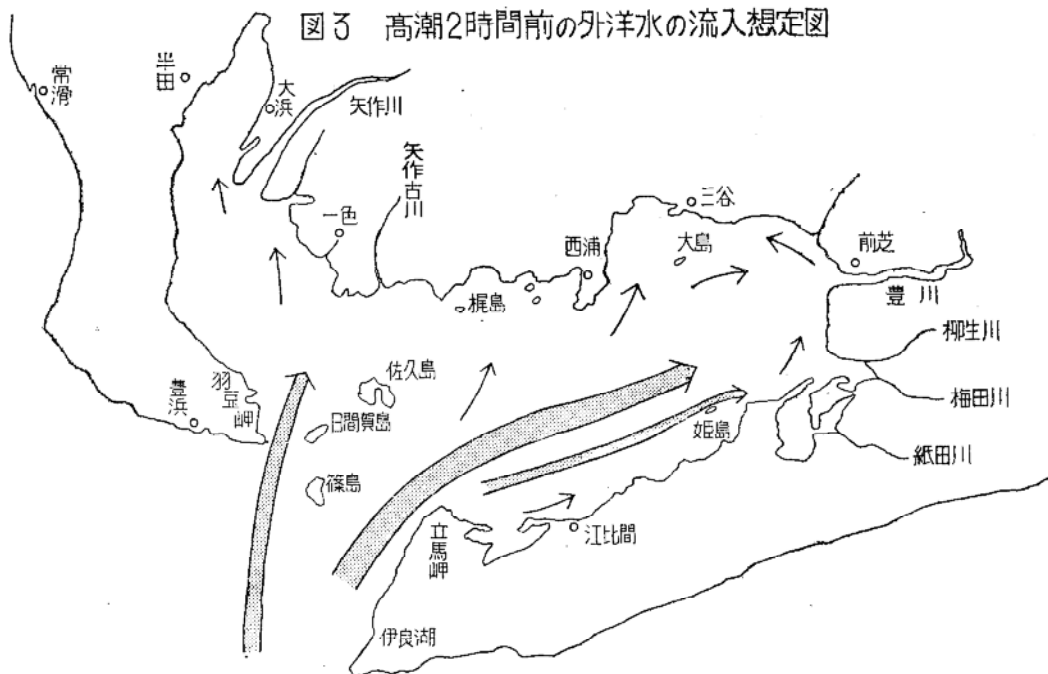
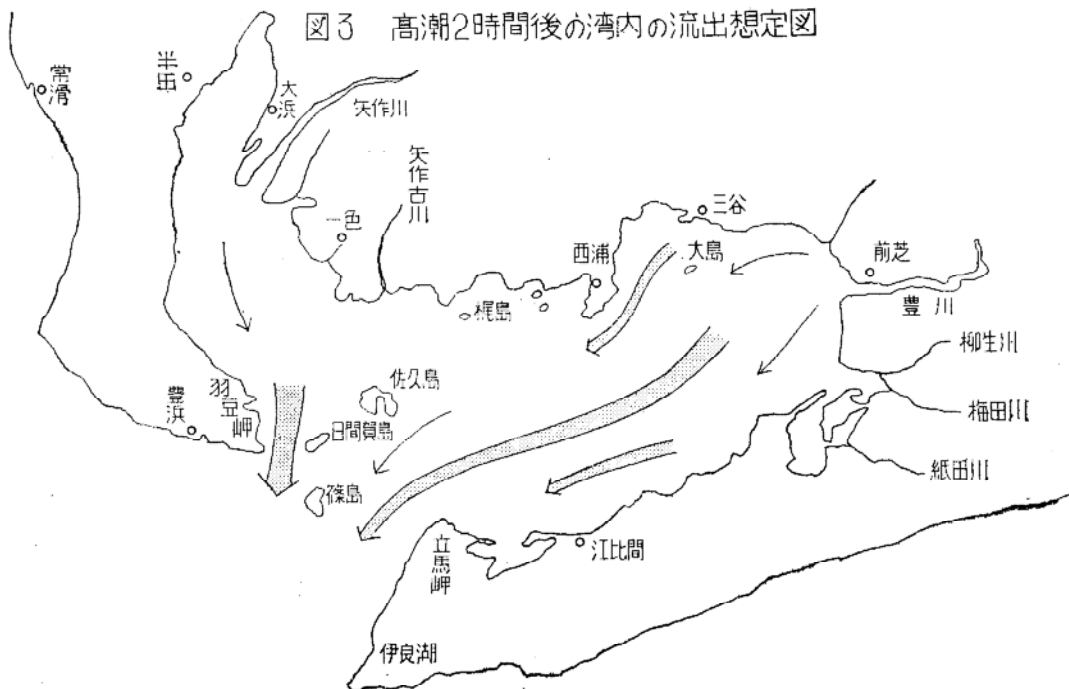
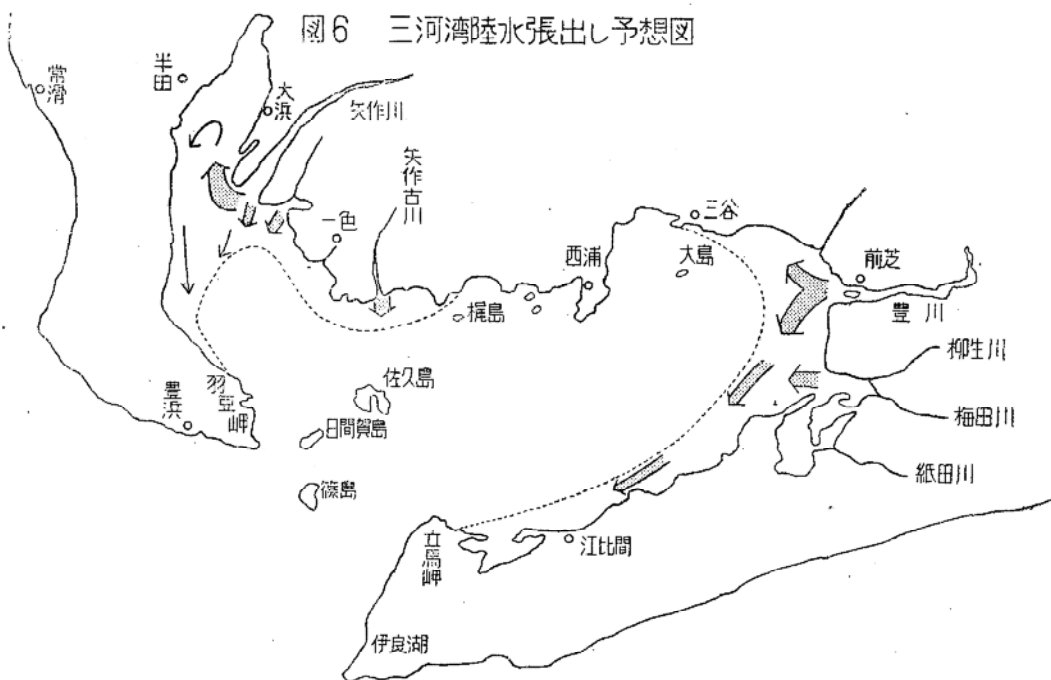
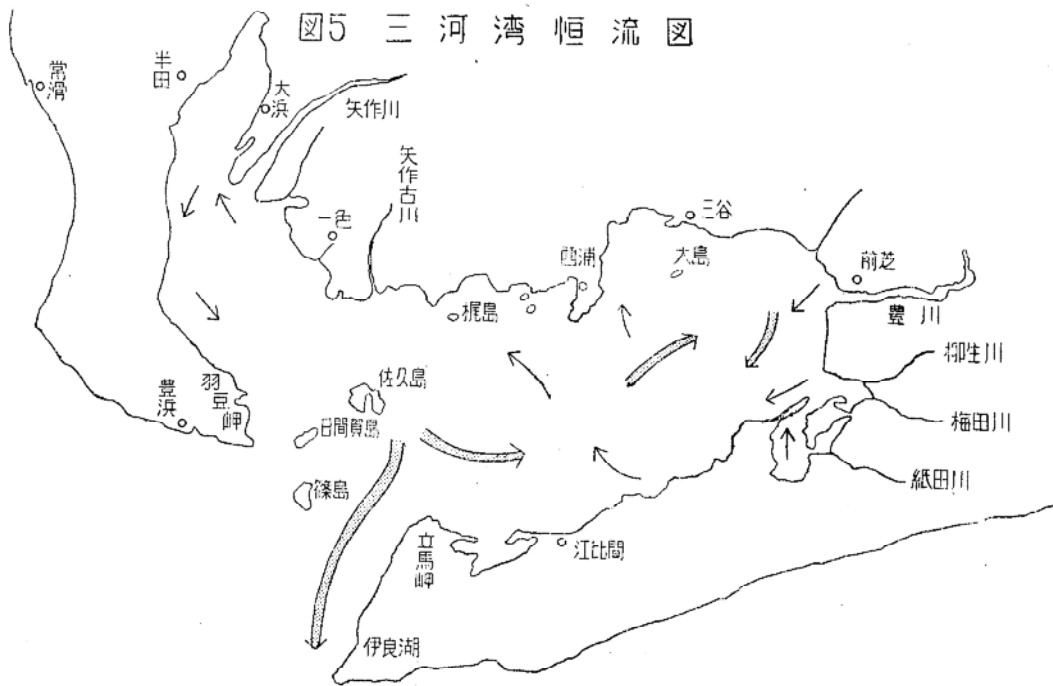


図3 高潮2時間後の湾内の流出想定図





## 2. 卵、稚魚の分布調査

各地点における罾網による採集結果およびその状況は、幼稚魚調査罾網査定結果表、定点別卵稚魚月別出現表のとおりである。なお、採集物の査定にあたっては、東海区水研にお願いした。

### (1) 概要

採集物の内容は、季節的に多少の差はあるが、ネズミゴチ類、カタクチイワシが主で、その他はコノシロ、カワハギ等が若干あるが数的には不明種が非常に多くなっている。このため魚種別分布状況をみることは至難であるので、今回は卵、稚魚の総数でもって検討を加えてみた。

### (2) 季節的変化

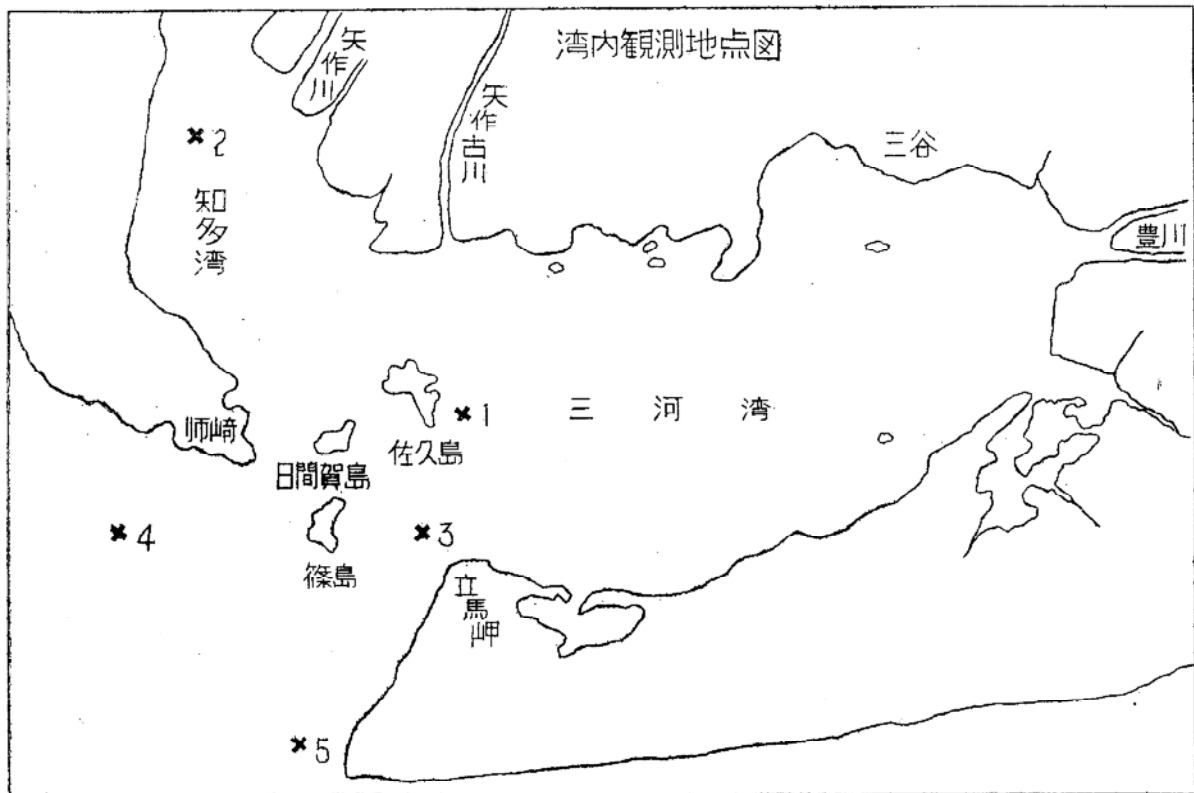
各点の季節的出現状況は、出現数からわかるとおり、はっきりと二つの山で表わされる。そして

大体共通していることは、6~8月の間に第1の山が現われ、10~12月にかけて第2の山が現われている。しかもそのいずれも第1の山が相当高い数量を示している。すなわち三河湾における卵、稚魚の季節的分布は6~8月にかけて最も多く、次いで10~12月ということがいえる。

### (3) 地域(定点)別変化

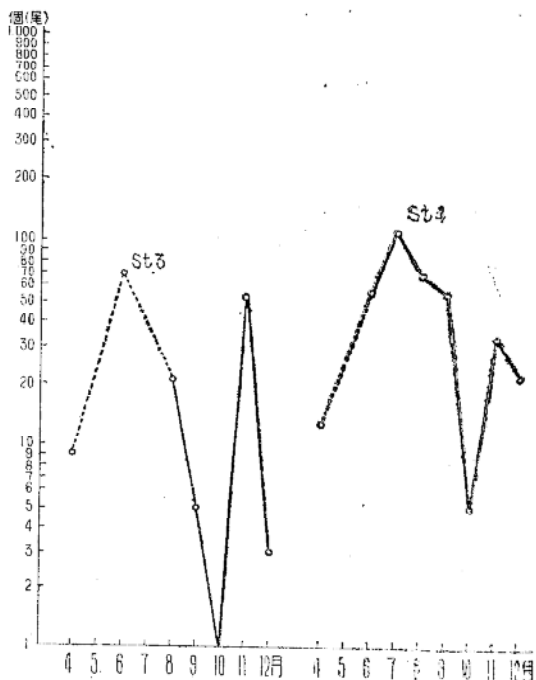
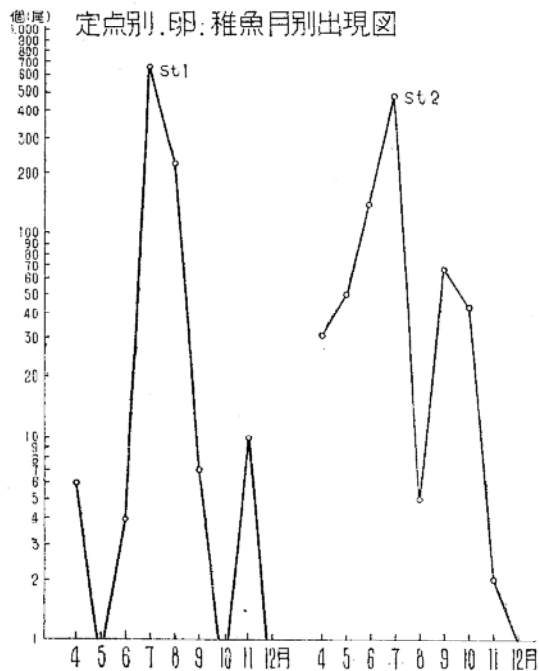
傾向としては、各点とも大きな差異は認められないが、年間を通じ総数の差が最も少ない地点は、Sf3、4であり、逆に時期的な差の激しい地点はSf1である。

換言すれば三河湾の卵、稚魚の濃度分布は、湾口附近においては季節的濃度の強弱は少なく、湾中央部においては季節的卵、稚魚の濃度の差が激しいということがいえる。このことは、各魚種の産卵場というものが大きく影響していると思われる。



幼稚魚調査(稚)網査定結果

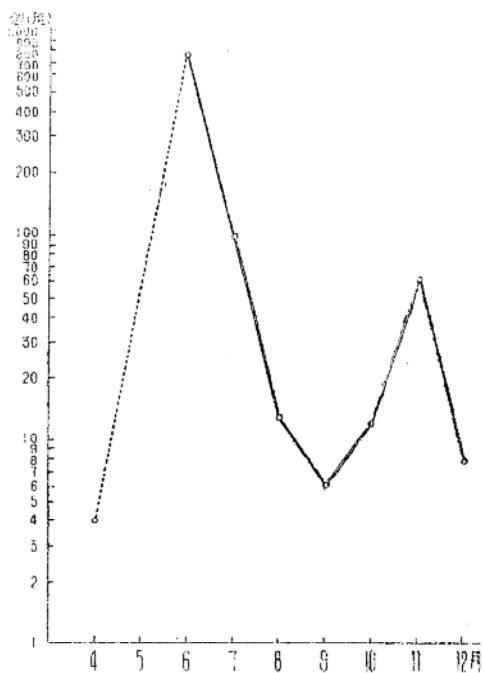
st	年月日	表 層		中 層				
		魚	卵	魚	卵			
1	36.5.3	種不明(1種)	1	なし	なし	コノシロ	1	なし
2	" 4	ネヅミゴチ類	21	"	"	種不明(2種)	4	"
3	" 3	種不明(1種)	1	"	"	ネヅミゴチ類	8	"
4	" 3	種不明(1種)	5	"	"	種不明(1種)	1	"
5	" 3	コノシロ	1	"	"	コノシロ	1	"
1	" 3	ネヅミゴチ類	3	"	"	なし	"	"
2	" 3	種不明(1種)	5	"	"	なし	"	"
3	" 3	なし	5	"	"	ネヅミゴチ類	4	"
1	5.16	なし	"	なし	"	なし	"	なし
2	" 16	ネヅミゴチ	50	"	"	"	"	"
3	" 16	欠測	"	"	"	"	"	"
4	" 16	"	"	"	"	"	"	"
5	" 16	"	"	"	"	"	"	"
1	6.20	種不明(1種)	4	なし	"	なし	なし	なし
2	" 20	なし	"	"	"	ネヅミゴチ類	136	"
3	" 23	ネヅミゴチ類	58	種不明(1種)	1	なし	"	"
4	" 20	種不明(3種)	10	なし	"	種不明(2種)	39	カタクチイワシ
5	" 23	なし	"	"	"	種不明(1種)	3	種不明(1種)
1	" 23	ネヅミゴチ類	630	"	"	種不明(1種)	3	種不明(1種)
2	" 23	種不明(2種)	13	"	"	ネヅミゴチ類	83	"
3	" 23	"	"	"	"	種不明(2種)	41	"
4	" 23	"	"	"	"	ネヅミゴチ類	2	種不明(1種)
5	" 23	"	"	"	"	種不明(2種)	292	"
1	7.27	ネヅミゴチ類	1	なし	"	ネヅミゴチ類	2	種不明(1種)
2	" 24	種不明(2種)	348	カタクチイワシ	2	種不明(2種)	292	"
3	" 24	種不明(3種)	434	種不明(2種)	292	欠測	"	"
4	" 24	欠測	"	"	"	カタクチイワシ	35	種不明(1種)
5	" 24	カタクチイワシ	60	コノシロ	1	ネヅミゴチ類	2	"
1	" 24	種不明(3種)	7	種不明(1種)	1	種不明(1種)	5	"
2	" 24	"	"	"	"	"	"	"
3	" 24	"	"	"	"	"	"	"
4	" 24	"	"	"	"	"	"	"
5	" 24	"	"	"	"	"	"	"
1	8.21	種不明(2種)	61	アミメハギ	2	コノシロ	1	種不明(1種)
2	" 21	種不明(1種)	1	種不明(2種)	14	ネヅミゴチ類	2	"
3	" 21	欠測	"	"	"	種不明(2種)	130	なし
4	" 21	カタクチイワシ	"	なし	"	種不明(1種)	4	カタクチイワシ
5	" 21	カタクチイワシ	30	種不明(1種)	2	カタクチイワシ	44	なし
1	" 21	カタクチイワシ	30	カワハギ科	3	カタクチイワシ	32	カワハギ科
2	" 21	カタクチイワシ	30	カワハギ	4	種不明(1種)	11	異体類(2種)
3	" 21	カタクチイワシ	30	オヤビツチャ	3	"	11	"
4	" 21	カタクチイワシ	30	トビウオ科	1	"	11	"
1	9. 1	欠測	"	"	"	カタクチイワシ	9	トウゴロウイワシ
2	" 1	種不明(1種)	64	なし	"	なし	"	なし
3	" 1	カタクチイワシ	2	アミメハギ?	1	"	"	カタクチイワシ
4	9.19	カタクチイワシ	31	なし	"	欠測	"	種不明(1種)
5	" 19	種不明(2種)	23	"	"	カタクチイワシ	10	なし
1	" 19	カタクチイワシ	3	"	"	カタクチイワシ	10	なし
2	10.16	なし	"	なし	"	なし	"	ネヅミゴチ類
3	" 16	カタクチイワシ	1	"	"	"	"	類
4	" 17	なし	"	ギンポ類?	1	"	"	"
5	" 16	種不明(1種)	1	カワハギ科	3	"	"	"
1	" 17	種不明(1種)	1	種不明(1種)	1	"	"	"
2	" 17	種不明(1種)	1	タツノオトシゴ	1	"	"	"
3	" 17	種不明(1種)	1	種不明(2種)	4	"	"	"
4	" 17	種不明(1種)	1	種不明(2種)	4	"	"	"
1	11.7	なし	"	なし	"	カタクチイワシ	1	なし
2	" 7	種不明(1種)	1	"	"	種不明(1種)	9	"
3	" 7	欠測	"	"	"	カタクチイワシ	45	"
4	" 7	カタクチイワシ	1	種不明(1種)	1	種不明(1種)	8	カタクチイワシ
5	" 7	カタクチイワシ	11	なし	"	ネヅミゴチ類	2	"
1	" 7	種不明(1種)	3	"	"	種不明(2種)	6	"
2	" 7	種不明(1種)	3	"	"	カタクチイワシ	1	なし
3	" 7	種不明(1種)	3	"	"	種不明(1種)	3	"
4	" 7	種不明(1種)	3	"	"	なし	"	"
5	" 7	種不明(1種)	3	"	"	なし	"	"
1	12.7	なし	"	なし	"	なし	"	なし
2	" 6	欠測	"	"	"	なし	"	なし
3	" 6	種不明(2種)	4	なし	"	カタクチイワシ	1	なし
4	" 6	スズキ	7	"	"	種不明(1種)	1	種不明(1種)
5	" 5	種不明(2種)	4	"	"	スズキ	3	種不明(1種)
1	" 5	種不明(2種)	2	"	"	種不明(2種)	6	"
2	" 5	種不明(2種)	2	"	"	種不明(2種)	6	なし



### 3, 稚魚の分布および生態調査

各定点における小型ひき網の採集実施状況は、幼稚魚生態調査実施概要のとおりであり、その採集物の各測定結果は、幼稚魚生態調査表のとおりである。

この調査は、初年度のこともあり、また小型ひき網の操作についても不慣れのため思うような成果があげられなかった。従がつて本年度の調査結果について、考察をおこなうのは非常に危険であると思われるので、これの詳細については、次年度更に調査の充実をはかつて、その実態を明らかにしたいと思う。



幼稚魚生態調査実施概要

調査年月日	船名	調査定点	備考
36. 5. 3. 4	和風丸	st. 1.2.3.4.5	
4. 16. 20. 22	白鷗丸	st. 1.2.3.4.5	st.3 漁獲なし
6. 20	多幸丸	st. 1.2.3.4	st.3 漁獲なし st.5 漁具破損のため中止
7. 24	多幸丸	st. 1	st.2.3.4.5 漁具破損のため中止
8.			漁具修理のため全点中止
9. 19. 20. 28	多幸丸	st. 1.2.3.4.5	st.4 漁獲なし
10. 16. 17	多幸丸	st. 1.2.3.4.5	
11. 7. 14	多幸丸	st. 1.2.3.4.5	
12. 5. 6. 7	多幸丸	st. 1.2.3.4.5	

幼稚魚生態調査表

調査状況			海況			
揚網日時	36年5月3日 11時		天候	小雨	雲量	10
採集地点	st 1		風向	力		
船名	和風丸		気温			
漁具名	底せい幼稚魚採集網		表面水温	16.0°C		
魚種名	総尾数	総重量	平均体重	平均体長	備考	
げんちよ	2尾	13.9g (10尾)	7.0g	9.9cm	10尾平均	
すべすべえび	19	3.0	0.3	2.5		
そこしらえび	3	0.35	0.12	1.6		
そらつのもえび	17	2.15	0.13	1.5		
Spiromote caris sp	1	0.6	0.6	2.1		

調査状況			海況			
揚網日時	36年5月4日 10時		天候	雨	雲量	10
採集地点	st 2		風向	力		
船名	和風丸		気温			
漁具名	底せい幼稚魚採集網		表面水温	16.7°C		
魚種名	総尾数	総重量	平均体重	平均体長	備考	
きす	1尾	4.6g	4.6g	7.4cm		
ねずみごち	2	10.5	5.25	7.55		
げんちよ	4	4.8	1.2	5.3		
くもはぜ科	1	0.6	0.6	3.6		
えびじやこ	1	0.8	0.8	3.8		
すべすべえび	4	0.8	0.2	2.4		



Miyabiella Pedunculata	1	1.9	0.17	2.5	
Metapenacopsis dalei	1	0.5	0.5	2.9	
ひらつのもえび	1	0.4	0.4	1.8	

調 査 状 況			海 況			
揚 網 日 時	36年 5 月 3 日 14時		天 候	雨	雲 量	1 0
探 集 地 点	st 3		風 向 力			
船 名	和 風 丸		気 温			
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網		表 面 水 温		16.0°C	
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体重	平均 体長	備 考	
き す	1尾	5.5g	5.5g	8.0cm		
ね ず み ごと	8	25.0	3.1	6.4		
げ ん ち よ	3	2.9	1.0	4.6		
す じ は せ こ も ち じ や こ	11	5.1	0.46	2.9		
ぎ ん ぼ	2	2.0	1.0	6.4		
く も は せ 科	1	0.5	0.5	3.4		
あ み め は ぎ	2	2.3	1.2	2.9		
し や こ	1	2.8	2.8	5.5		
さ る え び	18	11.0	0.6	3.1		
え び じ や こ	18	21.4	1.19	3.9		
そ こ し ら え び	2	0.3	0.15	1.75		
て つ ぼ う え び 科	2	2.0	1.0	2.7		
ひらつのもえび	21	—	0.17	1.6	10尾平均	
Spiromotocaris sp.	7	5.5	0.79	1.2		
み み い か 科	3	3.0	1.0	1.2		

調 査 状 況			海 況			
揚 網 日 時	36年 5 月 3 日 16時		天 候	雨	雲 量	1 0
探 集 地 点	st 4		風 向 力			
船 名	和 風 丸		気 温			
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網		表 面 水 温		15.2°C	
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体重	平均 体長	備 考	
き す	1尾	5.8g	5.8g	7.8cm		
ね ず み ごと	4	9.2	2.3	4.75		
げ ん ち よ	12	10.3	0.86	4.8		
ほ う ぼ う 科	1	0.15	0.15	1.8		
す じ は せ こ も ち じ や こ	4	1.9	0.48	2.8		

あみめはぎ	5	7.3	1.46	3.36	
ざるえび	6	12.8	2.1	4.5	
えびじゃこ	8	7.2	0.9	2.9	
すべすべえび	10	2.7	0.27	2.25	
そとしらえび	2	0.2	0.1	1.35	
てっけうえび科	8	4.2	0.53	2.36	
こしだがりもえび	6	0.4	0.07	1.25	
ひらつのもえび	24	23.3	0.97	1.5	
Metapenacopsis dalei	4	4.2	1.05	3.6	
みみいか科	2	0.9	0.45	0.9	

調 査 状 況				海 況		
揚網日時	36年5月3日 15時			天候	雨	雲量 10
採集地点	St 5			風向	力	
船名	和風丸			気温		
漁具名	底せい幼稚魚採集網			表面水温	15.6°C	
魚種名	総尾数	総重量	平均体重	平均体長	備考	
きす	1尾	4.5g	4.5g	7.9cm		
ねずみごち	9	5.95	0.66	3.7		
かんぞうびらめ	5	12.6	2.5	4.9		
すじはせ ともちじゃこ	3	1.3	0.43	3.03		
みみずあなご	1	5.0	5.0	27.3		
ざるえび	1	2.8	2.8	5.4		
えびじゃこ	19	3.7 (10尾)	0.37	2.1	10尾平均	
そとしらえび	1	—	—	1.8		
Metapenacopsjs dalej	33	7.7 (10尾)	0.77	3.48	10尾平均	
ひらつのもえび	3	—	—	1.7		
Spirotocaris. sp.	1	—	—	2.6		

調 査 状 況				海 況		
揚網日時	36年5月16日 時			天候	薄曇	雲量 7
採集地点	St 1			風向	力	W 1
船名	白鷗丸			気温	22.4°C	
漁具名	底せい幼稚魚採集網			表面水温	19.4°C	
魚種名	総尾数	総重量	平均体重	平均体長	備考	
はせ	1尾	13.9g	13.9g	11.0cm		

ねずみごち	3	20.0	6.7	7.7	
はたたてぬめり	2	14.5	7.3	8.6	
すじはせ こもちじゃこ	1	13.9	13.9	11.0	
あかうを	1	4.2	4.2	9.7	
しやこ	7	15.5	2.2	4.8	
えびじゃこ	7	15.0	2.2	4.8	
すべすべえび	2	0.5	0.5	3.2	
そこしらえび	14	2.2	0.16	2.1	
てつぼうえび	1	0.9	0.9	2.8	
Miyadiglia pedunculata	2	0.5	0.25	2.5	

調 査 状 況				海 況			
揚 網 日 時	36年 5月16日 11時			天 候	曇	雲 量	9
採 集 地 点	St 2			風 向 力	SE 1		
船 名	白 鷗 丸			気 温	21.8°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網			表 面 水 温	20.2°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体 重	平均 体 長	備 考		
ねずみごち	5尾	48.0g	9.6g	8.62g			
はたたてぬめり	5	45.5	9.1	8.92			
ぎ ん ぼ	5	42.0	0.88	7.4	平均トビ除く		
えびじゃこ	3	5.8	1.93	2.73			
すべすべえび	20	6.7	0.34	2.9			
そこしらえび	74	2.8 (20尾)	0.14	2.18	平均20尾		
てつぼうえび科	1	1.2	1.2	3.4			
ひらつのもえび	2	0.2	0.1	1.35			

調 査 状 況				海 況			
揚 網 日 時	36年 5月16日 14時			天 候	曇	雲 量	10
採 集 地 点	St 4			風 向 力	SSW 1		
船 名	白 鷗 丸			気 温	21.0°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網			表 面 水 温	17.9°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体 重	平均 体 長	備 考		
ねずみごち	1尾	5.6g	5.6g	7.4cm			
げ ん ち よ	1	3.4	3.4	8.2			
さ る え び	3	1.5	1.5	4.2			
えびじゃこ	6	1.2	0.4	2.97			

すべすべえび	1	3.1	0.52	3.05	
そこしらえび	1	0.1	0.1	2.1	
てつぼうえび	1	0.1	0.1	2.2	
Metapenacopsis dalei	1	0.1	0.1	2.1	

調 査 状 況			海 況			
揚 網 日 時	36年 5 月20日 12時		天 候	曇	雲 量	1 0
採 集 地 点	St 5		風 向 力	E 3		
船 名	白 鷗 丸		気 温	20.6°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網		表 面 水 温	18.0°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体 重	平均 体 長	備 考	
ね ず み ご ち	8尾	18.5g	2.3g	5.5cm		
ま と ら ぎ す	1	1.0	1.0	4.6		
す じ は ぜ こ も ち じ や こ	12	7.7	0.64	3.6		
あ さ ひ あ な は ぜ	1	1.5	1.5	4.9		
ぎ ん ぼ	2	1.7	0.85	6.65		
み み ず あ な ご	1	4.7	4.7	23.8		
さ る え び	1	0.5	0.5	3.2		
え び じ や こ	7	1.5	0.21	2.1		
そ こ し ら え び	2	0.2	0.1	1.75		
ひ ら つ の も え び	2	0.5	0.25	1.7		
Metapenacopsis dalei	20	14.5	0.73	3.36		
み み い か 科	2	0.5	0.25	0.5		

調 査 状 況			海 況			
揚 網 日 時	36年 5 月22日 12時		天 候	薄 曇	雲 量	7
採 集 地 点	St 6		風 向 力	NNW 1		
船 名	白 鷗 丸		気 温	21.0°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網		表 面 水 温	17.0°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体 重	平均 体 長	備 考	
こ う な ご	2尾	5.2g	2.6g	8.4cm		
げ ん ち よ	1	2.2	2.2	6.4		
え び し や こ	7	1.1	0.16	1.8		
Metapenacopsis dalei	2	2.5	1.25	4.25		

調 査 状 況				海 況			
揚 網 日 時	36年 6 月20日 11時			天 候	快 晴	雲 量	1
採 集 地 点	St 1			風 向 力	WSW 1		
船 名	多 幸 丸			気 温	25.4°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網			表 面 水 温	25.2°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体 重	平均 体 長	備 考		
い し が れ い	1尾	2.6g	2.6g	5.4cm			
ま こ が れ い (大)	1	—	—	17.5			
” (小)	1	4.7	4.7	6.1			
あ か し た ひ ら め	1	17.9	17.9	14.0			
ね ず み ご ち	51	99.7 (20尾)	5.0	7.3	平均20尾		
は た た て め め り	2	—	—	9.0			
す じ は ぜ こ も ち じ ゃ こ	9	28.1	0.9	3.1	平均トビ1尾除く		
が ぎ み	2	—	—	16.8			
し や こ	25	—	—	9.7	平均20尾		
え び じ ゃ こ (大)	3	1.0	0.33	2.9			
” (小)	114	6.8	0.07	1.5	平均20尾		
す べ す べ え び	20	21.5	1.1	4.4			
そ こ し ら え び	20	4.1	0.02	2.5			
て つ ぼ う え び	4	5.6	1.4	3.5			

調 査 状 況				海 況			
揚 網 日 時	36年 6 月20日 13時			天 候	快 晴	雲 量	2
採 集 地 点	St 2			風 向 力	SSE 1		
船 名	多 幸 丸			気 温	24.2°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網			表 面 水 温	21.5°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体 重	平均 体 長	備 考		
い し が れ い	2尾	13.9g	6.9g	7.4cm			
ま こ が れ い	1	—	—	15.8			
め い た が れ い	3	42.7	14.1	8.6			
ほ し が れ い	3	16.9	5.6	6.4			
ま は ぜ	1	25.8	25.8	12.6			
ね ず み ご ち	29	—	—	8.1	20尾平均		
は た た て め め り	3	—	—	10.0			
す じ は ぜ こ も ち じ ゃ こ	3	3.4	1.1	4.3			
し や こ	8	—	—	7.6			

えびじやこ (大)	9	11.9	0.42	4.2	
(小)	85	2.7	0.9	1.7	20尾平均
すべすべえび	36	43.7	1.3	4.5	
そこしらえび	108	25.4	0.23	2.8	
Metapenacopsis dalei	9	18.5	2.6	5.7	

調 査 状 況			海 況			
揚 網 日 時	36年 6 月20日 16時		天 候	晴	雲 量	4
採 集 地 点	St 4		風 向 力	S 2		
船 名	多 幸 丸		気 温	24.0°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網		表 面 水 温	21.5°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体重	平均 体長	備 考	
げ ん ち よ	4尾	22.9g	5.7g	8.7cm		
が ん そ う び ら め	2	3.4	1.7	4.3		
ね ず み ご ち	2	15.0	7.5	8.2		
は た た て め め り	1	6.9	6.9	8.4		
ぎ ん ぼ	1	7.2	7.2	11.8		
え び じ や こ	4	0.4	0.1	1.7		
そ こ し ら え び	2	0.6	0.3	2.8		
Metapenacopsis balei	5	8.4	1.7	4.4		

調 査 状 況			海 況			
揚 網 日 時	36年 7 月24日 12時		天 候	曇	雲 量	9
採 集 地 点	St 1		風 向 力	SSE 1		
船 名	多 幸 丸		気 温	27.6°C		
漁 具 名	底せい幼稚魚採集網		表 面 水 温	27.0°C		
魚 種 名	総 尾 数	総 重 量	平均 体重	平均 体長	備 考	
ま は せ	1尾	16.5g	16.5g	10.7cm		
ね ず み ご ち	40	—	5.52	7.54	20尾平均	
は た た て め め り	11	96.2	7.55	8.75		
す じ は せ こ も ち じ や こ	19	21.8	1.18	4.16		
て ん じ く だ い	3	0.4	0.13	1.8		
し や こ	22	275.8	12.85	10.0	20尾平均	
さ る え び	30	56.1	1.8	5.24	"	
え び じ や こ	—	138.5	0.07	1.72		
す べ す べ え び	17	8.2	0.48	3.61		